

まちづくり出前講座



「まちづくりと道」

～安全・快適・賑わいを支える道づくり～

令和8年1月27日(火)

西条地区連合自治会

高岡市都市創造部道路整備課



本日の内容

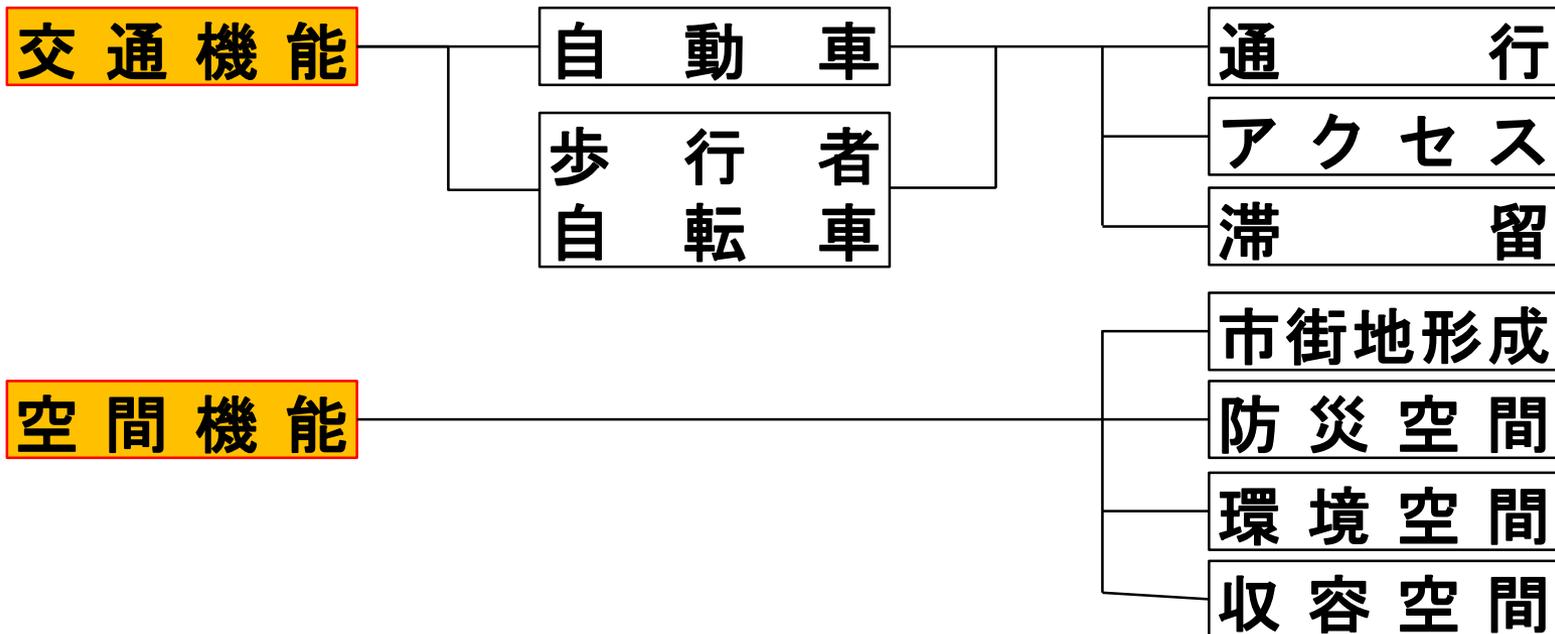
- 1 道路の役割と機能
- 2 高岡市内の幹線道路網
- 3 歩いて楽しいまちづくり
- 4 道路整備に係る課題

1 道路の役割と機能

(1) 道路の基本的役割

- a. 社会・経済の発展、国民生活の向上
- b. 公共空間としての役割

(2) 道路の持つ機能



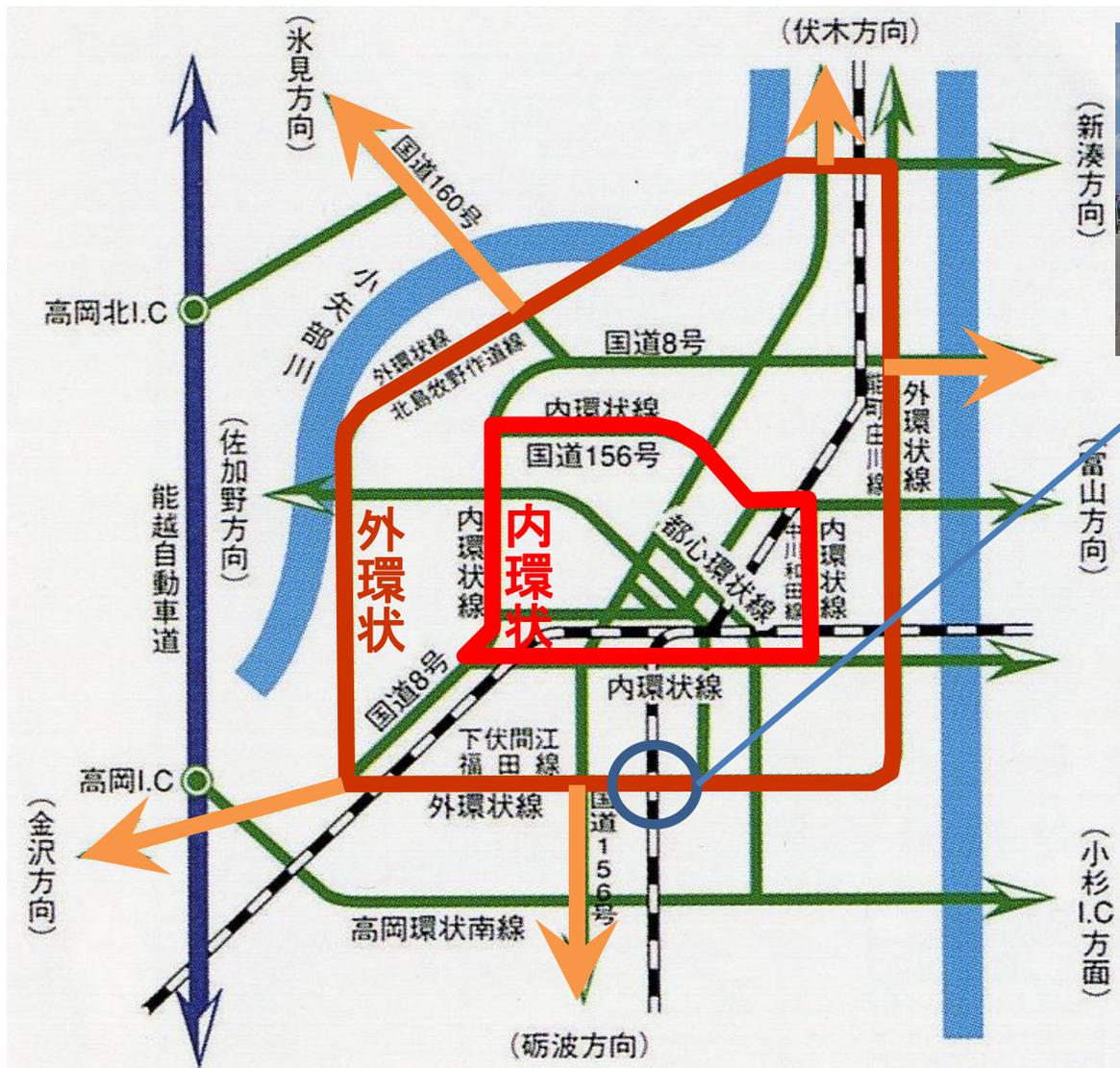
1 道路の役割と機能

(3) 道路の分類と交通機能

道路の分類		重視する交通機能					
		自動車の交通機能			歩行者等の交通機能		
		通行	アクセス	滞留	通行	アクセス	滞留
自動車専用道路	北陸自動車道、 能越自動車道	◎	×	×	×	×	×
自動車の通行機能を重視する道路	高岡環状線など	◎	△	△	△	△	△
多機能道路	国道156号、(都)下 伏間江福田線など	○	○	○	○	○	○
歩行者等の交通機能を重視する道路	いわゆる生活道路 (歩車共存道路)	△	○	○	◎	◎	◎
歩行者専用道路 自転車専用道路		×	×	×	◎	◎	◎

2 高岡市内の幹線道路網

道路網概念図（環状放射道路）



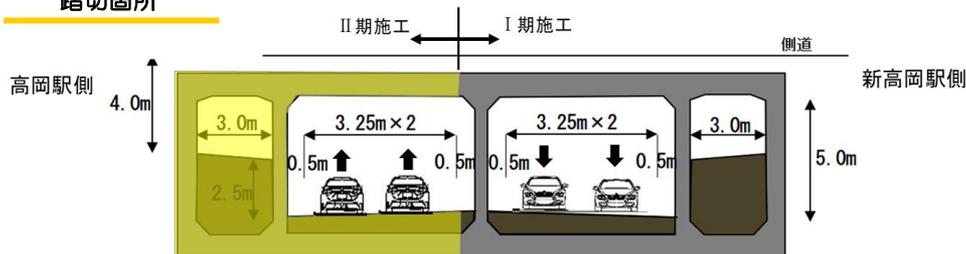
京田踏切の立体化
(市事業)

2 高岡市内の幹線道路網

市事業 都市計画道路 下伏間江福田線 地下式立体化

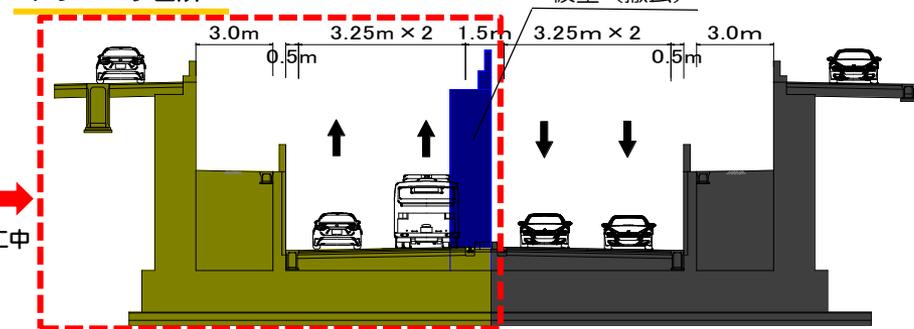


踏切箇所



アプローチ箇所

仮壁 (撤去)



現在施工中

現在の施工状況



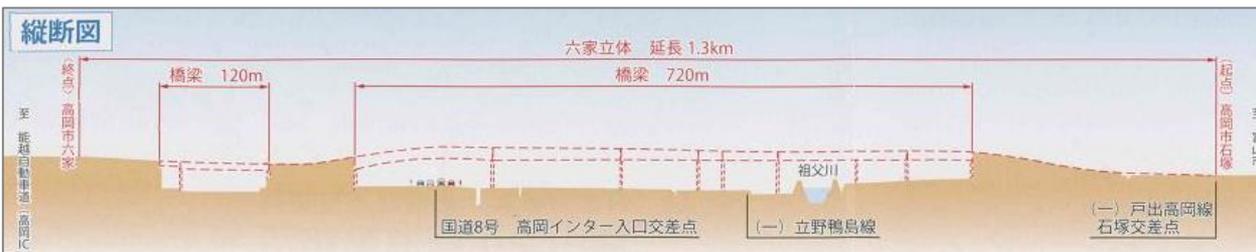
完成イメージ図 (京田側)

2 高岡市内の幹線道路網

国事業：国道8号（高岡環状道路） 六家立体

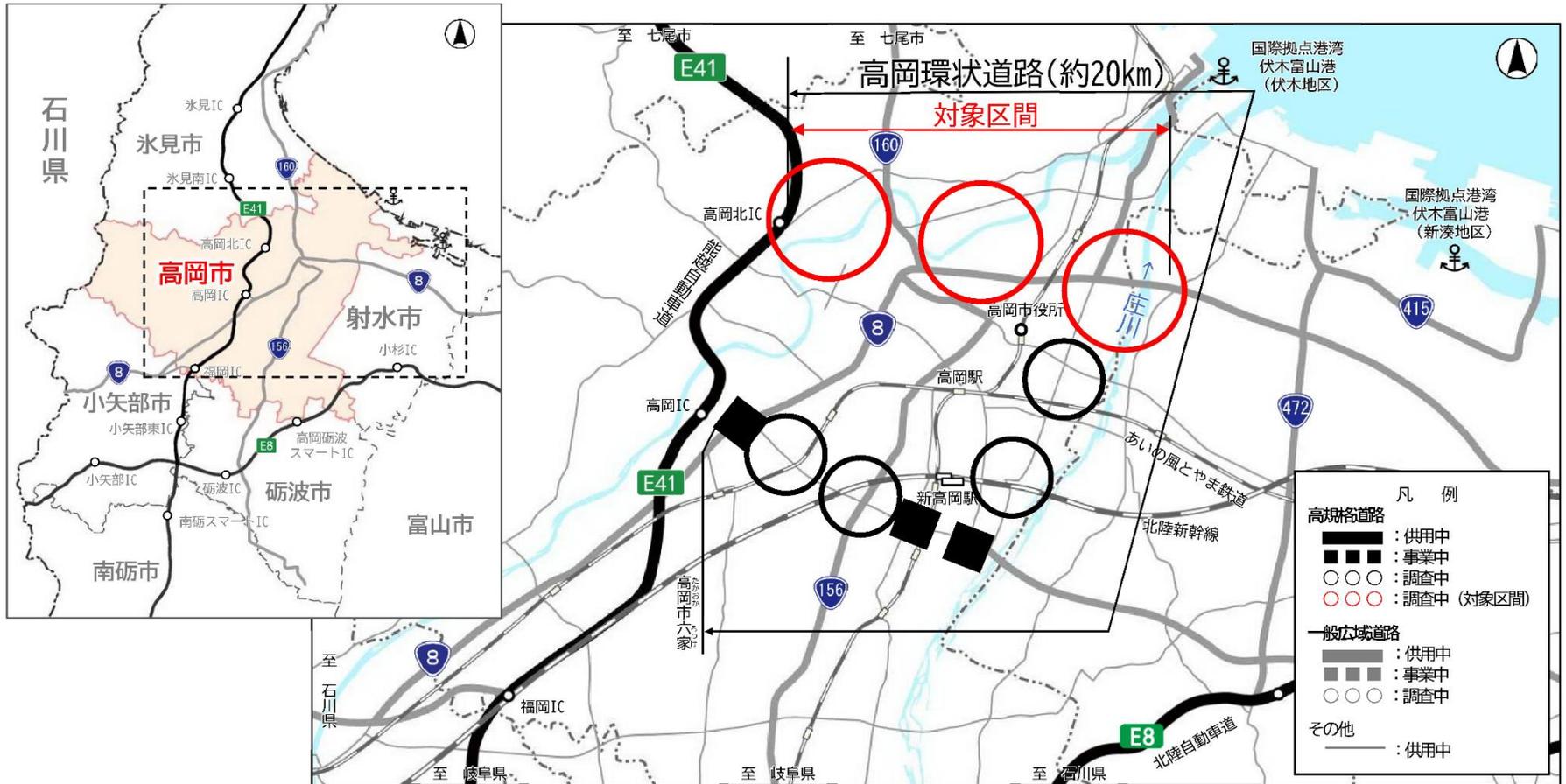


高岡インター入口交差点付近 渋滞状況



2 高岡市内の幹線道路網

国事業 高岡環状道路（北側区間）



3 歩いて楽しいまちづくり

(1) 歴史まちづくり

文化庁の日本遺産に認定

(2) 無電柱化

無電柱化整備・緊急輸送道路(防災)

(3) 景観整備

周辺景観と調和した道路整備

(4) 生活道路整備

通学路における交通安全の確保

3 歩いて楽しいまちづくり



(1) 歴史まちづくり

文化庁の日本遺産に認定
歴史まちづくり計画に基づく施策の推進

凡 例	
	:重要伝統的建造物保存地区
	:無電柱化
	:観光施設
	:商業施設

道路空間を活用したイベント



御旅屋人マーケット



ミラレ金屋町



道路空間を活用したイベント



高岡御車山祭



高岡七夕まつり

3 歩いて楽しいまちづくり

(2) 無電柱化

高岡駅～新高岡駅は、都心軸

無電柱化、歩道のカラー化、植栽、デザイン照明、消雪装置の設置



施工前



施工後

(都) 下関京田二塚線 (高岡駅南口～八丁道)

3 歩いて楽しいまちづくり

(2) 無電柱化 緊急輸送道路(防災)



国道156号（あわら町～御馬出町）

3 歩いて楽しいまちづくり

(3) 景観整備



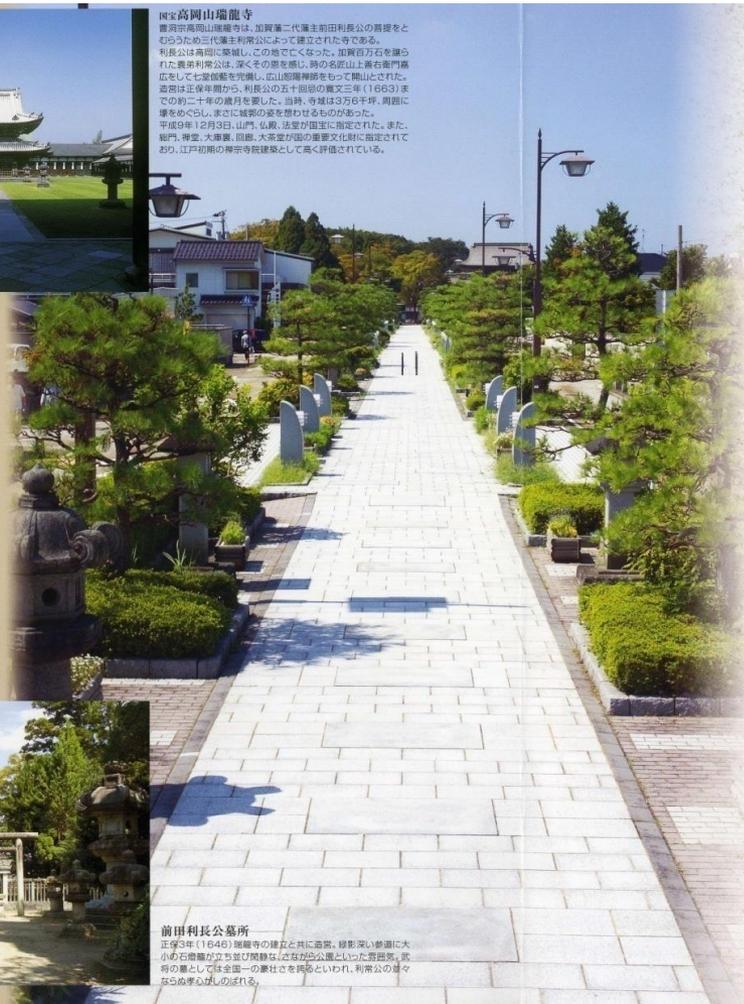
瑞龍寺

壮大な空間に圧倒される

緑深く、心癒される

前田墓所

国史高岡山瑞龍寺
曹洞宗高岡山瑞龍寺は、加賀藩二代藩主前田利長公の菩提をとむらうため三代藩主利常公によって建立された寺である。利長公は高岡に築城し、この地で亡くなった。加賀百万石を譲られた義弟利常公は、深くその恩を懐かし、跡の名匠山上善右衛門高広をして七宝伽藍を完成し、血山龍潭神師をもつて開山させた。瑞龍は正保年間から、利長公の五十回忌の寛文三年（1663）までの約二十年の歳月を要した。当時、寺域は3万6千坪、周囲に康をめぐらし、まさに城郭の家を想わせるものがあった。平成9年（2月8日）、山門、仏殿、法堂が国史に指定された。また、稲戸、神楽、大講堂、回廊、木霊堂が国の重要文化財に指定されており、江戸初期の禅宗寺院建築として高く評価されている。



前田利長公之像
高岡神社中、平成19年、瑞龍寺手前に設置された前田利長公の座像。ライオンズクラブによって寄贈された。

いにしへの時代を想う

緑の間に石燈籠が立ちならび、荘厳な山門へとつづく道。一歩一歩踏みしめながら、さらに新しい歴史と刻んでゆく。



八丁道は、高岡の開祖、加賀藩二代藩主前田利長公の菩提寺である瑞龍寺とその墓所とを東西に結ぶ参道で、長さが約八町（870m）あるところから「八丁道」と呼ばれるようになった。当時は道に沿って石燈籠や老松が連なる森厳な大参道であったという。そして、この平成の世、都市の喧騒の中にあっても時代の息吹を感じさせる一本の道。この道は、時代と次代をつなぐプロムナード。幾百たびかの四季をめくり、今また明日につながる緑の陰影を刻み新たな歴史を語り伝えるであろう。

八丁道の由来

前田利長公は慶長14年（1609）に高岡城を築くと共にその城下町を開いたが、わずか5年でこの世を去った。さらに、元和元年（1615）の「一國一城令」により、高岡城は廃城を余儀なくされたが、三代藩主利常公は、兄利長公の墓に頼るため瑞龍寺を建立すると共にその墓所を造営、これを結び参道として八丁道が築造された。

前田利長公墓所
正保3年（1648）瑞龍寺の建立と共に高岡。緑影深し参道に大小の石燈籠が立ち並び閑静な墓所が公儀とした菩提所。家利の墓としては全国一の豪華さを誇るといわれ、利常公の母々ならぬ孝むねの墓とされる。

八丁道歴史的景観整備事業

3 歩いて楽しいまちづくり

(3) 景観整備

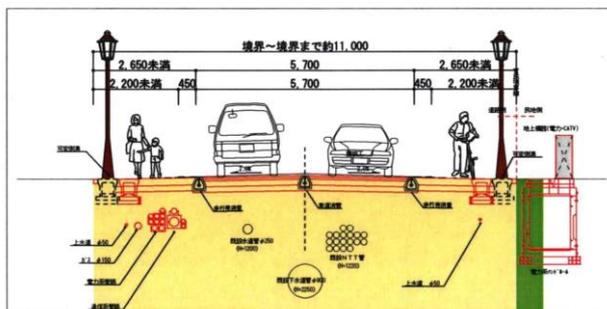


施工前



施工後

山町筋無電柱化事業



3 歩いて楽しいまちづくり

(4) 通学路における交通安全の確保



施工前

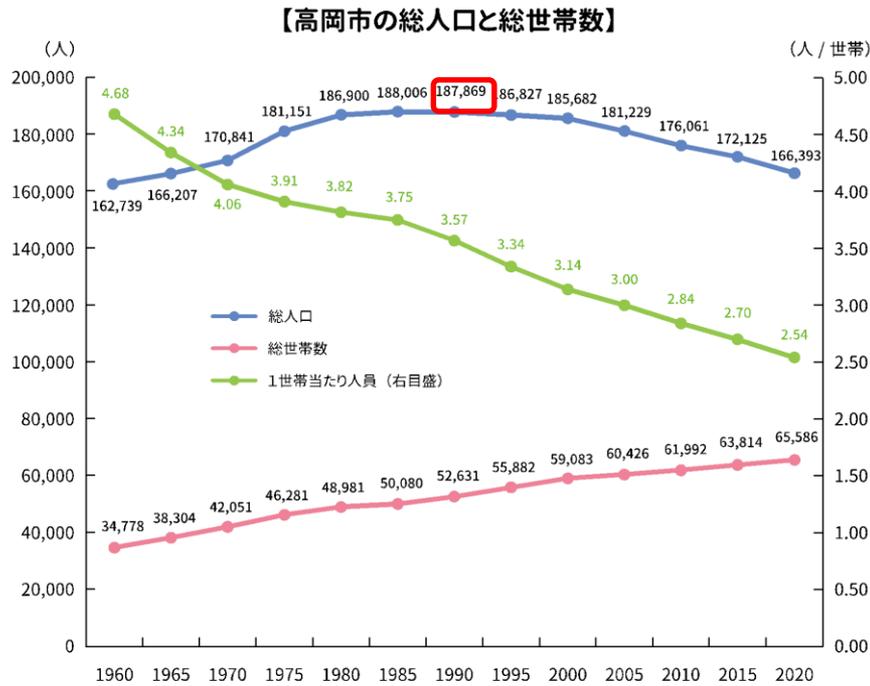


施工後

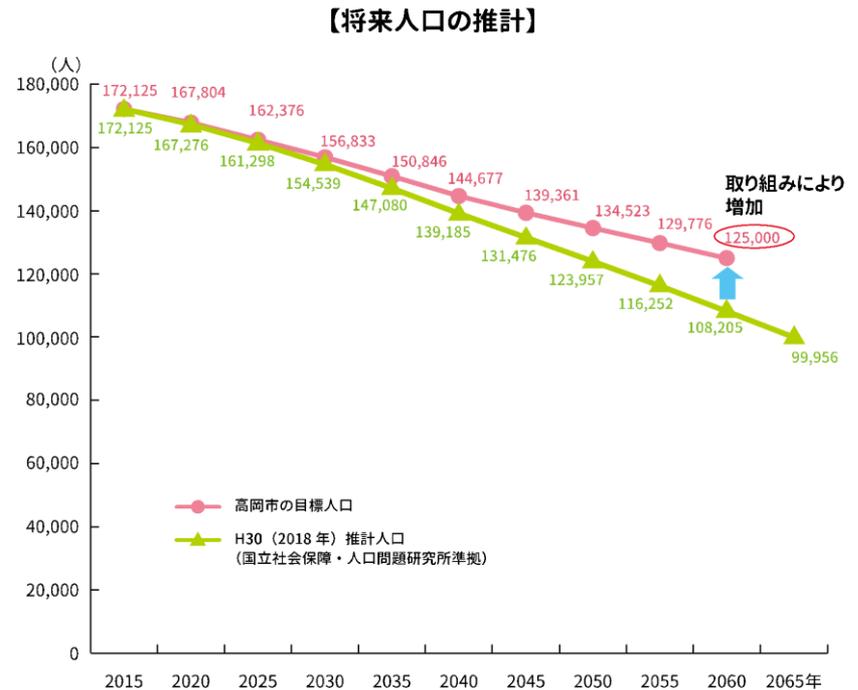
四屋環境センター一線

4 道路整備に係る課題

○増加する維持管理費や人口減少への対応



※高岡市総合計画から抜粋

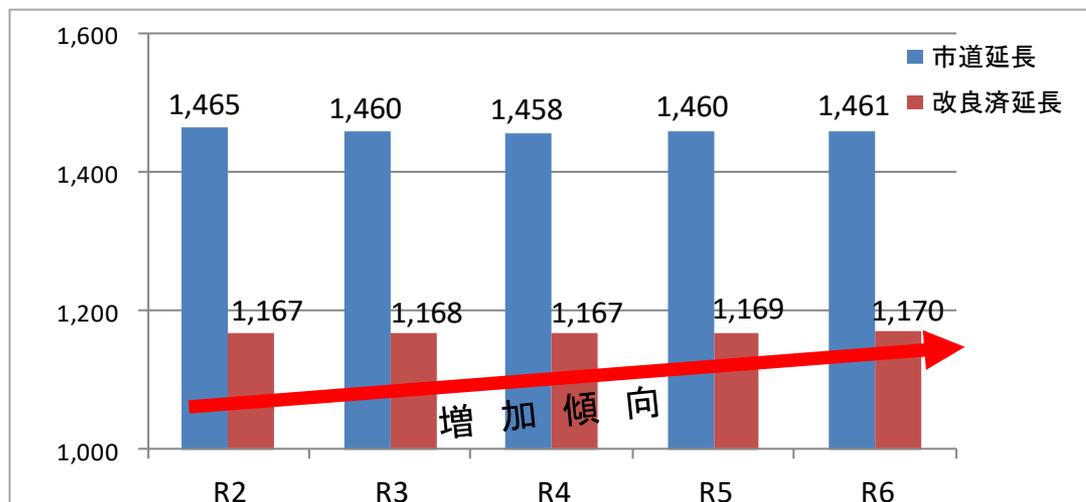


高岡市の総人口と総世帯数

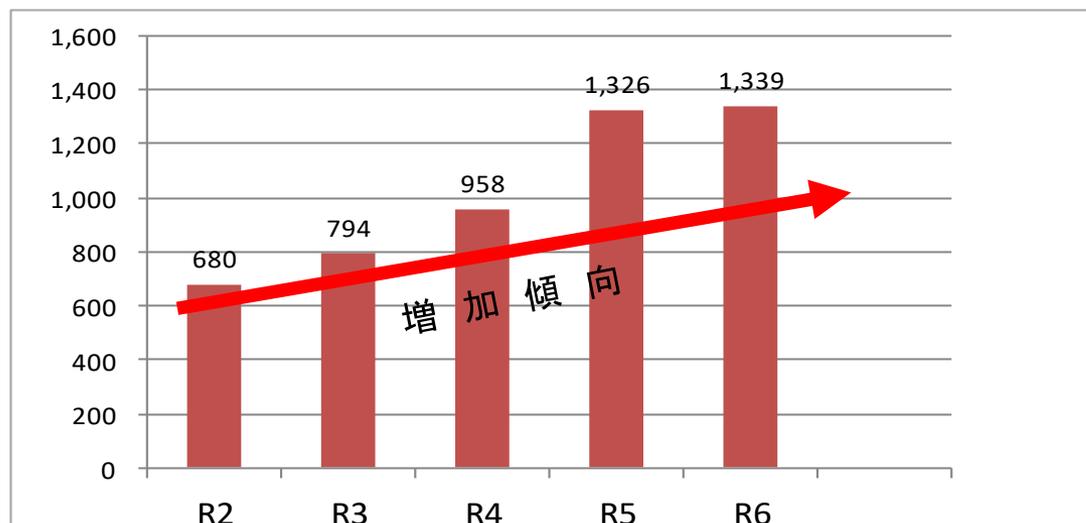
※2025.12.31現在(高岡市HP)
161,098人 68,938世帯

4 道路整備に係る課題

○増加する維持管理費や人口減少への対応



市道延長及び改良済延長の推移
(単位：km)



道路維持管理費等の推移
(単位：百万円)

※道路維持管理費、消雪施設整備事業費及び道路リフレッシュ事業費の合計

4 道路整備に係る課題

☆計画的な維持管理

中央道 笹子トンネル天井板落下事故



平成24年12月 天井板のコンクリート板が約130mの区間にわたって落下。走行中の車が巻き込まれ9名が死亡

この事故をきっかけに、国が老朽化対策の取り組みを強化！



5年に一回の頻度で道路構造物等(橋梁、トンネル等)の点検を行う。法律で位置づけ

4 道路整備に係る課題

☆計画的な維持管理

○橋梁の点検

- ・市内の1,160橋をH26年度から順次点検(橋長2m以上)を実施。
- ・5年に1回の頻度で点検を実施し、昨年度から3サイクル目。

○橋梁の補修

【橋梁の補修】 H27年度 実施大野陸橋橋脚部に剥落防止シートを施工



施工前



施工後

4 道路整備に係る課題

☆計画的な維持管理

○橋梁の補修

【橋梁の補修】 R5年度実施 石堤1016号橋(鋼橋)の塗装塗替え工事を施工



施工前



施工後

4 道路整備に係る課題

☆計画的な維持管理

○橋梁の補修

【橋梁の補修】 R6年度実施 波岡65号橋(多田薬品工業の横)の床版下面に断面修復工を施工



施工前



施工後

4 道路整備に係る課題

☆計画的な維持管理

○橋梁の撤去

【橋梁の撤去】 H30年度実施 市道矢部小伊勢領線 橋長 8.1m



施工前



施工後

まとめ

○幹線道路整備

- ・放射状道路の整備
 - ・インターチェンジへのアクセス道路整備
- ⇒本市のまちづくりや賑わい創出に大きく寄与

○歩いて楽しいまちづくり

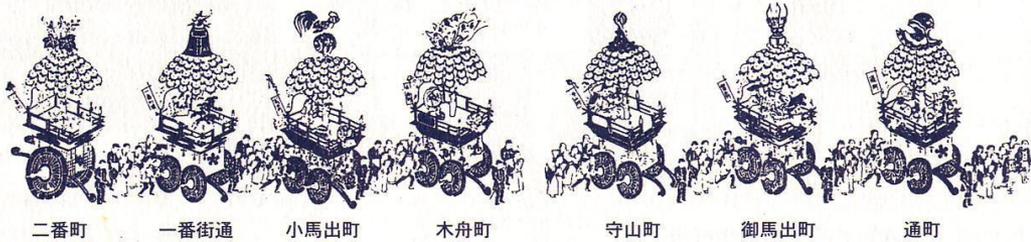
- ・無電柱化・景観整備・安全対策
- ⇒修景だけではなく防災・安全に寄与

○道路の維持管理費の増大

- ・計画的な維持管理
- ⇒定期的な点検による道路施設の修繕



ありがとうございました



二番町 一番街通 小馬出町 木舟町 守山町 御馬出町 通町